

病院長名	度会 正人
所在地	〒446-8602 愛知県安城市安城町東広畔 28 番地
交通案内	JR「安城駅」または名鉄「新安城」から名鉄バス「安城更生病院」行き乗車 (JR 安城駅からは市内循環バスもあり)

□ 病院の特徴

当院は愛知県西三河南部西医療圏に属し、病床数・医師数・救急症例数ともに多く、救命救急センターの指定を受ける3次医療機関です。90年以上の歴史をもちながら、常に新しいことに取り組む気風あふれた病院です。熱意ある指導医も多く、また病院全体として教育へのコンセンサスが得られており、病院を挙げて優れた医療人を育てようという雰囲気があります。

その他、当院には救命救急センターをはじめ、総合周産期母子医療センター・地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院・地域中核災害拠点病院などの機能を備えており、地域の中核病院としての役割を担っています。

□ 研修の特徴

1974年から2年間のローテート研修を行ってきた実績を持ち、新医師臨床研修制度の基本形態をすでに安定したかたちで提供しています。また、臨床教育を通じ、専門領域以外に無関心な医師となることなく、患者を全人的にとらえることのできる真に優れた医師を育てたいと考えています。研修医は救急などのプライマリ・ケア領域で早い時期から主体的に活動します。

当院での研修の特徴としては、1) 豊富な症例・手技を経験できる。2) 研修医個々の希望でローテートをアレンジできる。3) ERが充実している。4) 地域医療研修が充実している。5) ICL5を院内で受講できる。6) 各科の垣根が低い。7) メディカルスタッフが非常に協力的である。などが挙げられます。

その他、救命救急センター、循環器センター、新生児センター、周産期センターなどの高度医療機能を備え、三河地域広域より多数の救急入院患者を受け入れ、豊富な症例を経験することができます。

【臨床研修の理念】

地域社会および当院から求められる医師像を意識しつつ、将来の専門分野によらず全人的医療を行えるたくましい医師となることをめざす。



□ メッセージ

指導医 (副院長 新井利幸)

当院は、救命救急センター・総合周産期母子医療センター・地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院・地域中核災害拠点病院として、プライマリ・ケアから高次の診療機能まで、臨床研修の場として十分な診療体制を持っています。教育研修センターをはじめ、すべての診療科・すべての医療スタッフ・同僚の研修医仲間が臨床研修を支えています。当院の研修で実力をつけた医師のほとんどが当院の専門研修に進み、診療・後輩指導の大きな担い手となると同時に、その活気と明るさで当院全体の雰囲気をつくってくれています。当院で多くの先輩医師に接して、将来の自分の医師像を描いてください。



研修医 (1年次研修医 丹羽智香)

安城更生病院を選んだ主な理由は、手厚い教育環境と豊富な症例数です。病院全体の雰囲気が良く、上級医の先生方やスタッフの皆さんが丁寧に指導して下さるので、安心して研修に取り組むことができます。また、各診療科の症例数が多く、多様な経験を積むことができ、医師として成長できる素晴らしい環境だと感じています。研修医同士が積極的に意見交換を行い、互いに切磋琢磨しながら研修に励むことができる点も大きな魅力です。ぜひ一度見学にいらして下さい!



□ 募集要項

・採用実績	2024年度 18人	・2025年度 18人
・給与/月額	1年次 350,000円	2年次 380,000円 (※手当含まず)
・当直回数/月	3~4回	
・当直料/回	1年次 25,000円	2年次 35,000円(昨年実績) ※勤務扱いのため概算
・その他	学会・研修会への参加可、助成制度有、研修医宿舎有	
・応募連絡先	担当者 伊藤 綾花	
	電話番号	0566-75-2111 (内線: 3247)
	Eメール	kyoiku-soumu@kosei.anjo.aichi.jp